



「イノベーション—今こそ、現場を動かそう—」

ニューズレター

第4号

(7月31日発行)

一般演題が決定しました！

【 演 】

10:15～11:30 <人財育成> 座長:黒田久美子(千葉大学大学院看護学研究科)

- 1 臨床現場での看護実践スタートを円滑にするための開院年度における新人看護師研修の試み
小西 美ゆき(東千葉メディカルセンター)ほか
- 2 第三次救急医療施設における経験豊かな看護師のキャリアおよび学習ニーズに関する調査と院内研修プログラムの検討
比田井 理恵(千葉県救急医療センター)ほか
- 3 職位別にみた看護プロフェッショナルリズムの現状
田中 理子(九州大学大学院薬学研究院革新的バイオ医薬創成学)ほか
- 4 看護学分野の教育と臨床の連携強化を目指した課題解決型高度医療人材養成プログラムの政策立案過程とねらい
市村 尚子(文部科学省高等教育局医学教育課)ほか
- 5 課題解決型高度医療人材養成プログラム提案に向けた看護系人材養成に係る政策立案過程
石橋 みゆき(千葉大学大学院看護学研究科)ほか

13:40～14:25 <対象理解と看護> 座長:山本利江(千葉大学大学院看護学研究科)

- 6 耳鼻咽喉科疾患で短期入院により手術を受ける幼児後期・学童期の患児が持つ手術のイメージと手術後の体験
栗林 真央(慶応義塾大学病院)ほか
- 7 親の亡き後を見据えた重症心身障害者に対する訪問看護師のケアマネジメント
岸野 まどか(医療法人財団健和会 みさと健和病院)
- 8 乳腺炎の原因細菌の保菌状況と乳腺炎の起こりやすさの関連について
浅井 紀子(医療法人社団 誠馨会 新東京病院 心臓内科)

【 示 説 】

10:20～11:10 (午前の部)

- P-1 ラオス人民民主共和国における院内感染対策の実践報告
添田 沙織(千葉大学大学院看護学研究科)
- P-2 国際看護の講義を受けた学生の学び
雑賀 祐子(千葉大学大学院看護学研究科)ほか
- P-3 シミュレーションによる看護技術研修の実際と今後の課題
鳥越 美洋(千葉大学医学部附属病院)ほか
- P-4 認知障害をもつ高齢入院患者の転倒予防に向けたスタッフ教育プログラムの開発と評価
杉山 智子(順天堂大学医療看護学部)ほか
- P-5 リハビリテーション医療に携わる看護師のキャリア発達支援をめざした教育システムの再構築および評価
大館 千歳(東京都リハビリテーション病院)ほか
- P-6 認知症・せん妄患者への看護の取り組み:看護師長ワーキンググループの活動を通して
豊田 明美(千葉県循環病センター)ほか
- P-7 重症児ケア・回復期リハビリテーションにおけるおむつの見直しによる排泄ケアの改善
荒木 暁子(千葉県千葉リハビリテーションセンター)ほか
- P-8 認定看護師のコンサルタントとしての成長を支援する取り組み
余木 さおり(聖隷佐倉市民病院)ほか
- P-9 市町村における新人保健師現任教育上のニーズ-管理的立場にある者が認識している新人保健師の成長と支援体制の課題-
雨宮 有子(千葉県立保健医療大学)ほか
- P-10 専門看護師活動の医師の包括的指示に基づいて実施している医行為の現状
眞嶋 朋子(千葉大学大学院看護学研究科)ほか
- P-11 実践適用の概念の整理と看護学における論文の動向
小宮 浩美(武蔵野大学看護学部)ほか

13:30～14:20 (午後の部)

- P-12 膠原病患者が感じる生活の暮らしやすさ
大坪 あずさ(千葉大学医学部附属病院)ほか
- P-13 食物アレルギーをもつ学童と家族の学校生活における食事に関する工夫
伊藤 海青(千葉大学医学部附属病院)ほか
- P-14 整形外科手術を受けた学童期患児が描く退院後の学校生活と家族の心配—病棟看護師による退院支援の経過から見えてくる姿—
村田 圭汐(千葉大学医学部附属病院)ほか
- P-15 気管支喘息をもつ学童・思春期患者の疾患や治療・セルフケアに対する受け止め方とサポート
雄山 愛美(千葉大学医学部附属病院)ほか
- P-16 心臓血管手術の術後移行期において高齢者の自己の創造を支える看護援助
須藤 麻衣(東京医療保健大学医療保健学部)ほか
- P-17 看護師が認知症高齢者を理解するために用いている情報—看護活動の場の違いに着目して—
犬山 彩乃(千葉大学大学院看護学研究科博士前期課程)ほか
- P-18 補完代替医療に関する訪問看護師のとらえ方と課題
久長 正美(千葉大学大学院看護学研究科博士前期課程)ほか
- P-19 ケアマネジャーの経験するモラルディストレス
伊藤 隆子(順天堂大学医療看護学部)ほか
- P-20 A市の在宅看取りに関する医療・介護連携の課題
安藤 智子(千葉科学大学 看護学部)ほか
- P-21 医療過疎地域における地域医療連携室の機能と役割—在宅療養支援の実績から—
豊田 栄子(国保小見川総合病院)ほか

■期 日:平成26年9月13日(土) 9:00～受付開始

■会 場:千葉大学看護学部(千葉大学亥鼻キャンパス)

■参加申込み:事前申込みは、8/8まで。当日参加もできます。

交流集会・ランチョンセミナー・理事会企画などのプログラムは、学会ホームページをご覧ください。<http://www.cans-net.jp/society/>